

大学番号：私435

[平成23年度設置]

計画の区分：大学新設

認可

大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人物療学園
平成25年5月1日現在

目 次

	頁
1 概要等	1
名称、定員、入学状況【学部】	2
退学状況等	4
2 授業科目の概要①	5
授業科目の概要②	8
3 施設・設備	9
4 既設状況	10
5 教員組織の状況①【学部用】	11
5 教員組織の状況②【学部用】	17
6 留意事項	18
7 全般の事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人物療学園

(2) 大 学 名

大阪物療大学

(3) 大学の位置

〒593-8328

大阪府堺市西区鳳北町3丁33番地

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成21年10月)		
学 長	(タナカ ヒロシ) 田中 博司 (平成23年4月)		
学 部 長	(カナモリ イサオ) 金森 勇雄 (平成23年4月)		
学科長等	(コミズ ミツル) 小水 満 (平成23年4月)		

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

(5)－① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 診療放射線技術学科 学士 (診療放射線学)	4 年	80 人	— 年次 人	320 人	

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	一人 一人 (一) [一]		80人 一人 (一) [一]		80人 一人 (一) [一]		80人 一人 (一) [一]		1.12倍	
志願者数	一 一 (一) (一) [一] [一]		170 一 (一) (一) [一] [一]		252 一 (一) (一) [一] [一]		290 一 (一) (一) [一] [一]			
受験者数	一 一 (一) (一) [一] [一]		168 一 (一) (一) [一] [一]		249 一 (一) (一) [一] [一]		284 一 (一) (一) [一] [一]			
合格者数	一 一 (一) (一) [一] [一]		96 一 (一) (一) [一] [一]		100 一 (一) (一) [一] [一]		113 一 (一) (一) [一] [一]			
B 入学者数	一 一 (一) (一) [一] [一]		84 一 (一) (一) [一] [一]		85 一 (一) (一) [一] [一]		102 一 (一) (一) [一] [一]			
入学定員超過率 B/A	一		1.05		1.06		1.27			

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次			[—] 84	[—] —	[—] 85	[—] —	[—] 102	[—] —	
2 年次					[—] 81	[—] —	[—] 90	[—] —	
3 年次							[—] 70	[—] —	
4 年次									
計			[—] 84		[—] 166		[—] 262		

(5) ー④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	84 人	6 人	平成23年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情1名、除籍2名	7.1 %
			平成24年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情3名	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	85 人	2 人	平成24年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情1名 他の教育機関への入学・転学1名	2.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	102 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	271 人	8 人					3.0 %

2 授業科目の概要

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 修	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 礎 教 育 科 目	基礎ゼミナール	1前	2			— 1	1	1	1	0		オムニバス 教授1名退職により担当教員 を4名へ変更 (25)
	基礎物理	1前	2			1						
	基礎数学	1前	2			1						
	基礎化学	1前後		2							兼1	開講期変更 (25)
	基礎生物	1後前		2							兼1	前年度誤記載 (25)
	数学演習	1後前		1							兼1	開講期変更 (25)
	自然科学演習	1後前		1							兼1	開講期変更 (25)
	情報科学	1前	2			1						
	情報科学演習	1前	1			1				1		
	論理と記述演習	1後		1							兼1	
	自然環境システム論	1後		2							兼1	
	2前											通常開講 (25)
	プログラミング演習	未開 講		1							兼1	履修希望者がいなかったため (24)
	研究法入門	3前・後	1			1						
	生命と倫理	1前	2			1				1		担当助手未就任 (25)
	健康の科学	1前		2							兼1	
	地球と環境	1前		2							兼1	
	心理と行動	2前		2							兼1	
	宗教と民族	2前		2		1						
	文化の比較	2後		2		1						
	地域と福祉	3前		2			1					
	中国の文化	3後		2				1				
	表現法入門	1後	1					1				
	コミュニケーション演習	2後		1			1					
	プレゼンテーション演習	3前・後		1							兼1	
	英語Ⅰ(基礎)	1前	2			1					兼1	
	英語Ⅲ(実践)Ⅱ(応用)	1後	2			1					兼1	前年度誤記載 (25)
	英語Ⅱ(応用)Ⅲ(実践)	3後		2		1						前年度誤記載 (25)
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅱ(植物性機能に関わる系)	1後	2								兼1	
	解剖学Ⅰ(動物性機能に関わる系)	1後前	2								兼1	開講期変更 (25)
	生理学・生化学	1後	2			1						
	病理学	2前		2							兼1	
	社会医学	3前		2							兼1	
	形態機能学実習	2前	1			— 1	1	1		— 1	兼1	教授1名退職及び担当助手未 就任により准教授1名講師1名 及び当該科目について十分な 実績を有する兼任講師1名が 担当、担当助手は前年度より 引き続き公募中 (25)
	放射線医学概論	2前	2			1						
	一般内科学	2後		2							兼1	
	臨床病態学概論	2後		2							兼1	
	患者看護論	2前		1							兼1	
	救命救急医療論	3前		2							兼65	オムニバス 兼任講師1名就任辞退による (25)
	リハビリテーション概論	3前		1		— 1	1					履修希望者が少ないため准教 授1名が開講する (25)
	医用物理学	2前	2			1						
	医用工学Ⅰ(電気工学の基礎)	1後	2			1						
医用工学Ⅱ(エレクトロニクス)	1後		2		1							
応用数学	2前		2		1							

	粒子線工学	2後		2		1						
	診療放射線序論	1前	1			1						
	診療放射線物理Ⅰ(基礎)	1後	2			1						
	診療放射線物理Ⅱ(応用)	2前		2		1						
	放射化学Ⅰ(基礎)	1後	2								兼1	
	放射化学Ⅱ(応用)	2前		2							兼1	
	放射線生物学	2後	2			1						
	放射線計測学Ⅰ(基礎)	2前	2								兼1	
	放射線計測学Ⅱ(応用)	2後		2							兼1	
専門科目	診療画像技術論	1前	1			1						
	診療X線機器学Ⅰ(X線発生装置)	1後	2				1					
	診療X線機器学Ⅱ(X線システム)	2前		2							兼1	
	X線撮影技術学Ⅰ(基本技術)	2前	2			1						
	X線撮影技術学Ⅱ(応用技術)	2後		2		1						
	X線CT技術学	2後	2			1						
	画像解剖学Ⅰ(X線解剖90)	3前		2		1						
	画像診断機器学	3前	2			1						
	画像検査技術学Ⅰ(MR検査)	3後	2			1						
	画像検査技術学Ⅱ(超音波・眼底)	3後		1							兼1	
	画像解剖学Ⅱ(画像診断)	4前		2		1						
	診療画像技術学実習Ⅰ(基本技術)	2後	1				1	2	1	1		担当助手未就任、前年度に引き続き公募中(25)
	診療画像技術学実習Ⅱ(応用技術)	3前	1				1	2	1	1	兼1	担当助手未就任、前年度に引き続き公募中(25)
	放射性薬品学	2後		2							兼1	
	核医学診断機器学	3前	2				1	1				前年度誤記載(准教授でなく講師) 講師1名就任辞退により教員を変更(25) 担当 野口敦司(講師)平成25年1月教員審査済 判定 可
	核医学検査技術の基礎	3後	2				1	1				前年度誤記載(准教授でなく講師) 講師1名就任辞退により教員を変更(25)担当 野口敦司(講師)平成25年1月教員審査済 判定 可
	核医学検査技術各論	3後		2							兼1	
	がん医療科学	2前		2		1						
	放射線腫瘍学	3前	2			1					兼1	
	放射線治療機器学	3前	2			1						
	放射線治療技術の基礎	3後	2			1						
	放射線治療技術各論	3後		2		1						
	医用画像工学	2後	2			1						
	医用画像写真学	2後		2							兼1	
	医用画像情報学	3前	2			1						
	医用画像情報学演習	3後		1		1				1		担当助手未就任、前年度より引き続き公募中(25)
	医療情報学	3後		2							兼1	
	放射線衛生学	3前	2			2						
	放射線関係法規	3前		2							兼1	
	放射線安全管理学	3後	2			1						
	放射線医療マネジメント論	4前	1			1						
	医療リスクマネジメント論	4前	1			1						
	臨床実習Ⅰ(X線技術)	3前・後	3			1		2	1	1		担当助手未就任、前年度より引き続き公募中(25)
	臨床実習Ⅱ(画像技術)	4前	4			2	1	1	1	1		
	臨床実習Ⅲ(核医学・治療技術)	4前	3			1		1		1		講師1名就任辞退により教員を変更(26) 担当 野口敦司(講師)平成25年1月教員審査済 判定 可
	放射線診断学	3後	2			1						
	画像読影論	4前		2		1						
	障害者・高齢者ケア論	4前		1		1						
	がん制御科学特論	4後		1		1						
	総合演習(診療X線技術)	4後		1				2				

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0\%}$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考	
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積2152.00㎡ 借用期間 20年 校舎敷地と別地 (約8km、自動車約15分) 平成25年3月大阪物療 専門学校閉校により転 用 (25)		
	校 舎 敷 地	2121.09 2996.84㎡	875.75 0㎡	0㎡	4㎡			
	運動場用地	2152.00㎡	0㎡	0㎡	2152.00㎡			
	小 計	4273.09 5148.84㎡	875.75 0㎡	0㎡	5148.84㎡			
	そ の 他	221.29㎡	0㎡	0㎡	221.29㎡			
	合 計	4494.38 5370.13㎡	875.75 0㎡	0㎡	5370.13㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	平成25年3月大阪物療 専門学校閉校により転 用 (25)		
		4178.88 6142.17㎡	381.52 0㎡	1581.77 0㎡	6142.17㎡			
		(6142.17㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(6142.17㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	平成25年3月大阪物療 専門学校閉校により転 用 (25)	
		6 8室	2 4室	11室	1室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		大学全体	
		保健医療学部			21 室			
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	図書は育友会（保護者 会）から寄贈、雑誌は 専門学校卒業生から寄 贈 (25)
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
		冊	種	〔うち外国書〕				
	保健医療学部	16,000 [1,000] (15,845—15,840 [729])	40 [10] (27 35 [5 9])	750 [10] (0 [0])	200 105	5,000 (4,859)	100 (102)	
	計	16,000 [1,000] (15,845—15,840 [729])	40 [10] (27 35 [5 9])	750 [10] (0 [0])	200 105	5,000 (4,859)	100 (102)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		329.22㎡		50席		20,000冊		
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		307.56㎡		該 当 な し				
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	2,000千円	2,000千円	2,000千円
		共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	31,493千円	5,250千円	—千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	—千円	—千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大 阪 物 療 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保健医療学部 診療放射線技術学科	4年	80人	年次 0人	320人	学士 (診療放射線 学)	1.12倍	平成 23年度	大阪府堺市西区 鳳北町3丁33番 地	
大 学 の 名 称									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			

5 教員組織の状況

<保健医療学部 放射線技術学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目 名	備考
専	教授 (学長)	田中 博司 (58)	平成23年4月	生命と倫理						
専	教授 (学部長)	金森 勇雄 (75)	平成23年4月	画像解剖学Ⅰ(X線解剖) 画像解剖学Ⅱ(画像診断) 総合演習(画像検査技 術)						
専	教授 (学科長)	小水 満 (62)	平成23年4月	研究法入門 医用画像情報学 医用画像情報学 演習 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像情報技術) 卒業研究						
専	教授	蔭山 勝弘 (75)	平成24年4月	放射線生物学 放射線衛生学 放射線安全管理学 卒業研究						
専	教授	青笹 正夫 (67)	平成23年4月	基礎物理 基礎医学 医用工学Ⅰ(電気工学の 基礎) 医用工学Ⅱ(エレクトロ ニクス) 応用数学 卒業研究						
専	教授	宇都 文昭 (62)	平成25年4月	放射線治療機器学 放射線治療技術の基礎 放射線治療技術各論 臨床実習Ⅲ(核医学・治 療技術) 総合演習(核医学・治療 技術) 卒業研究						
専	教授	三羽 信比古 (62)	平成23年4月	生理学・生化学 がん医療科学 がん制御科学特論 卒業研究						
専	教授	坂本 豪信 (61)	平成23年4月	情報科学 情報科学演習 医用物理学 粒子線工学 画像診断機器学 卒業研究						

専	教授	小川 利政 (61)	平成23年4月	基礎ゼミナール※ X線撮影技術学Ⅰ（基本技術） X線撮影技術学Ⅱ（応用技術） 臨床実習Ⅰ（X線技術） 画像読影論 卒業研究						
専	教授	橋本 勉 (60)	平成25年4月	放射線医学概論 放射線医療マネージメント論 放射線診断学 卒業研究						
兼任	講師	橋本 勉 (60)	平成24年4月	放射線医学概論						
専	教授	中島 俊文 (59)	平成25年4月	放射線腫瘍学 放射線衛生学 総合演習（核医学・治療技術） 卒業研究						
専	教授	岩元 新一郎 (52)	平成23年4月	診療放射線序論 診療放射線物理Ⅰ（基礎） 診療放射線物理Ⅱ（応用） 医用画像工学 総合演習（画像情報技術） 卒業研究						
専	教授	谷内 幸喜 (48)	平成24年4月	基礎ゼミナール※ 形態機能学実習 リハビリテーション概論 医療リスクマネージメント論 障害者・高齢者ケア論					基礎ゼミナール	平成25年3月谷内幸喜教授自己都合により退職 平成25年度担当者をおムニバス4名で実施（25）
					兼任	講師	串崎 正輝 (68)	平成25年4月	形態機能学実習	平成25年度担当者の変更（25）
					専任	准教授	高井 逸史	平成25年4月	リハビリテーション概論	「リハビリテーション概論」担当 准教授高井逸史 平成22年10月 教員審査済 判定 可

							後任未定		医療リスクマネジメント論	次年度開講に向け、現在公募中
							後任未定		障害者・高齢者ケア論	
兼任	講師	谷内 幸喜 (48)	平成23年4月	基礎ゼミナール※						
専	教授	山口 功 (46)	平成23年4月	診療画像技術序論 X線CT技術学 画像検査技術学Ⅰ(MR検査) 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像検査技術) 卒業研究						
専	教授	加藤 久典 (46)	平成23年4月	宗教と民族文化の比較 英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用) 英語Ⅲ(実践)						
専	准教授	小縣 裕二 (45)	平成23年4月	診療X線機器学Ⅰ(X線発生装置) 診療画像技術学実習Ⅰ(基本技術) 診療画像技術学実習Ⅱ(応用技術) 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(画像検査技術)						
専	准教授	高井 逸史 (45)	平成24年4月	基礎ゼミナール※ 地域と福祉 コミュニケーション演習 形態機能学実習 リハビリテーション概論						
兼任	講師	高井 逸史 (45)	平成23年4月	基礎ゼミナール※						
専	講師	山田 敦子 (55)	平成23年9月	表現法入門 診療画像技術学実習Ⅰ(基本技術) 診療画像技術学実習Ⅱ(応用技術) 臨床実習Ⅰ(X線技術) 総合演習(診療X線技術)						
専	講師	李 強 (54)	平成23年4月	基礎ゼミナール※ 中国の文化 形態機能学実習						

専	講師	武下 正憲 (52)	平成24年4月	診療画像技術学実習Ⅰ (基本実習) 診療画像技術学実習Ⅱ (応用実習) 臨床実習Ⅰ(X線技術) 臨床実習Ⅱ(画像技術) 総合演習(診療X線技術)						
専	講師	竹中 賢一 (43)	25年4月	核医学診断機器学 核医学検査技術の基礎 臨床実習Ⅲ(核医学・治療技術) 総合演習(核医学・治療技術)	専任	講師	野口 敦司 (52)	平成25年4月	核医学診断機器学 核医学検査技術の基礎	平成24年7月 竹中講師就任辞退(24)
					専任	講師	野口 敦司 (52)	平成26年4月	臨床実習Ⅲ(核医学・治療技術) 総合演習(核医学・治療技術)	平成24年8月より公募。 平成25年1月 A C教員審査済(25) 判定 可
専	助教	西浦 素子 (37)	平成23年4月	基礎ゼミナール※ 診療画像技術学実習Ⅰ (基本技術) 診療画像技術学実習Ⅱ (応用技術) 臨床実習Ⅰ(X線技術) 臨床実習Ⅱ(画像技術)						
兼任	講師	俣野 彰三 (79)	平成23年4月	基礎生物 解剖学Ⅰ(動物性機能に関わる系) 解剖学Ⅱ(植物性機能に関わる系)						
					兼任	講師	串崎 正輝 (68)	平成25年4月	解剖学Ⅰ(動物性機能に関わる系) 解剖学Ⅱ(植物性機能に関わる系)	高齢につき担当教員変更(25)
兼任	講師	大野 尚史 (39)	平成23年4月	数学演習 自然科学演習	兼任	講師	朝田 良子	平成24年10月	数学演習 自然科学演習	契約しなかった(23)
					兼任	講師	大西 健広	平成25年4月	自然科学演習	
兼任	講師	木村 捷二郎 (69)	平成23年4月	基礎化学 放射化学Ⅰ(基礎) 放射化学Ⅱ(応用) 放射性薬品学	兼任	講師	朝田 良子	平成25年4月	基礎化学 放射化学Ⅰ(基礎) 放射化学Ⅱ(応用)	契約しなかった(25)
					兼任	講師	遠藤 忠保 (72)	平成25年10月	放射性薬品学	
兼任	講師	横井 光治 (37)	平成23年9月	論理と記述演習	兼任	講師	八木 雅和 (37)	平成25年10月	論理と記述演習	契約しなかった(24)

兼任	講師	小林 正雄 (67)	平成23年4月	地球と環境 自然環境システム論						
兼任	講師	村治 雄文 (47)	平成24年9月	プログラミング演習	兼任	講師	山崎 隆治 (39)	平成24年10月	プログラミング 演習	契約しなかった (24)
兼任	講師	新宅 幸憲 (59)	平成23年4月	健康の科学	兼任	講師	中井 聖 (42)	平成25年4月	健康の科学	契約しなかった (24)
兼任	講師	池本 明弘 (48)	平成24年4月	心理と行動						
兼任	講師	藤村 一郎 (40)	平成25年4月	プレゼンテーション演習 救命救急医療論※						
兼任	講師	池田 涼子 (60)	平成23年4月	英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(応用)						
兼任	講師	湯 久浩 (47)	平成24年4月	病理学 臨床病態学概論						
兼任	講師	銭田 晃一 (51)	平成25年4月	社会医学						
兼任	講師	守口 篤 (51)	平成24年4月	一般内科学	兼任	講師	湯 久浩 (48)	平成24年10月	一般内科学	契約しなかった (24)
兼任	講師	堀内 由伊子 (60)	平成24年4月	患者看護論	兼任	講師	川中 絢子 (66)	平成25年4月	患者看護論	契約しなかった (25)
兼任	講師	松岡 哲也 (51)	平成25年4月	救命救急医療論※					救命救急医療論	契約しなかった (25)
兼任	講師	坂下 恵治 (54)	平成25年4月	救命救急医療論※						
兼任	講師	相良 健司 (43)	平成25年4月	救命救急医療論※						
兼任	講師	西池 成章 (42)	平成25年4月	救命救急医療論※						
兼任	講師	二藤 真理子 (39)	平成25年4月	救命救急医療論※						
兼任	講師	安田 憲幸 (64)	平成24年4月	放射線計測学Ⅰ(基礎) 放射線計測学Ⅱ(応用)						
兼任	講師	畑川 政勝 (66)	平成24年4月	診療X線機器学Ⅱ(X線シ ステム) 医用画像写真学						
兼任	講師	牧島 展海 (55)	平成25年9月	画像検査技術学Ⅱ(超音 波・眼底)						
兼任	講師	岩崎 光博 (43)	平成25年4月	診療画像技術学実習Ⅱ (応用技術)						
兼任	講師	遠藤 忠保 (72)	平成25年4月	核医学検査技術各論	兼任	講師	安田 憲幸	平成25年4月	核医学検査技 術各論	担当教員変更 (25)
兼任	講師	小野 公二 (60)	平成25年4月	放射線腫瘍学						
兼任	講師	福西 康修 (49)	平成25年9月	医療情報学						
兼任	講師	井澤 一雄 (62)	平成25年4月	放射線関係法規						

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年 齢	定年を延長 している教員数
15	2	4	1	22	14	2	4	1	21	70	2
10	1	1	1	13	[△1]	[0]	[0]	[0]	[△1]	歳	名

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	谷内 幸喜	自己都合による退職
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

谷内教授退職に伴う科目担当者変更については、今後の対応について事前に大学設置室へ電話で相談を行ったところ、「大学の判断でカリキュラム作成を行い、設置に係る設置計画履行状況報告書にその旨を報告して下さい」との指示があった。本学としては、当該教員の平成25年度担当する科目についてはすべて専門科目外であることから、専門基礎科目1科目については、科目内容について十分な経験を有する兼任講師を担当させることとし、平成26年度担当予定の科目については、専任教員を今後公募し平成26年度の開講を予定している。

なお、学生へは新年度オリエンテーションで伝えると同時に、学生便覧及びシラバスにて周知徹底を図った。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成23年4月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置の趣旨に基づき、目的を常に意識して設置計画を履行している。高等教育機関にふさわしい教育の質の向上を目的とし、定期的及び臨時の教授会、FD委員会、教務委員会等各種委員会を開催し、現状の課題に迅速に対応するとともに、計画的に教育の水準を確保するよう努めている。	
	・運動場及び体育館が別置にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動に配慮すること。	運動場への送迎用マイクロバスを準備し、学内行事や学生の課外活動等に利用しやすいよう配慮している。定期的な学生アンケートや、学生意見箱を設置し、そのニーズを汲み取り、施設利用環境の向上に努めている。	
	・教員の年齢構成が高いため教育研究の継続性を踏まえ、今後の採用計画等、教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。（とくに後任の教員の採用にあつては、教授及び准教授も含めて公募を行うことが望ましい。）		必要時期に留意事項を吟味し、実施する予定である。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年5月)	該当なし		

7 その他全般的事項

<保健医療学部 診療放射線技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更予定なし

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 平成23年4月からFD委員会を設置している。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月第二木曜日に定例開催している。構成員は全員参加している。 c 委員会の審議事項等 1) FD推進のための企画及び実施に関する事 2) FDに関する報告書等の作成に関する事 3) FDに関する調査・研究に関する事 4) 教育内容及び教育環境の改善に関する事 5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関する事 6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関する事 7) 教育職員の資質向上を図るための組織的な研修に関する事 8) その他、FDの推進に関する事 ② 実施状況 a 実施内容 1) FD委員会の開催 2) 授業アンケートの実施 3) FD研修会の実施 4) 新任教員研修の実施 5) 個別相互授業参観制度の実施 6) ガイドライン・覚書の作成 b 実施方法 1) FD委員会：毎月第二木曜日に定例開催 2) 授業アンケート：学期毎に授業アンケートと教員資質改善策提案の実施 3) FD研修会：学期毎に専任教員を対象にFD委員会を実施 4) 新任教員研修：新任専任教員を対象に4月中に実施 5) 個別相互授業参観制度：授業参観実施ウィークを設定 6) ガイドライン・覚書：FD委員会での検討内容を必要に応じてガイドライン・覚書として作成・周知	
--	--

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) F D 委員会：構成員全員参加
- 2) 授業アンケート：平成25年度前期は6月上旬～中旬に実施予定、平成25年度後期は実施時期は今後検討
- 3) F D 研修会：昨年度同様、年2回の開催を予定している
（平成24年度実績）・平成24年9月6日「教員の教育能力・資質のあり方」
・平成25年3月6日「授業態度の向上対策」
- 4) 新任教員研修：平成25年4月11日実施済（新任教員4名全員参加、F D 委員長実施）
（内容）・平成24年度前期及び後期のF D 研修会の概要説明
・平成24年度前期及び後期の授業アンケートの概要説明
・平成25年度個別教員相互授業参観へのご案内
- 5) 個別相互授業参観制度：平成25年4月15日～19日に実施済
・期間内は専任教員の授業を自由に参観可能（参観後に感想文を提出）
・参加教員9名
- 6) ガイドライン・覚書：昨年度同様、必要に応じて作成する
（平成24年度実績）・「学生の授業態度向上対策」作成
・「試験前補習のあり方に対するガイドライン」作成

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

アンケートや研修会等の実施により把握された問題点については、F D 委員会で検討を重ね、随時改善を取り入れている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期毎に実施（各学期第10回目前後の各講義時）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員：集計結果を教員毎に配付、各自が検討した改善策をF D 委員会でとりまとめ学生へ公開している。
学生：集計結果を学生ホールへポスター掲示している。

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨、目的の達成に向けた教育・研究を行っていくために、大学組織全体で継続的に取り組みを行っている。専門性を生かした人事育成により、地域医療の向上に寄与すること及び地域貢献のための教育・研究拠点として知的資源を還元するために、定期的及び臨時で開催する学園運営委員会・教授会・F D 委員会・教務委員会など大学の最高決定機関及び学部並びに各委員会が連携して共通認識のもとで、教育研究の水準向上に努めている。その結果、開学年度（平成23年度）以来、3年連続で定員を満たす入学生を確保し、本学の教育研究活動の質的向上に向けて検証し改善を図り、大学としての責任を果たすとともによりよい大学づくりを実践している。

② 自己点検・評価報告書

・教育研究水準の向上を図るために、自己点検・評価は全学的に取り組むことを基本としている。大学評価委員会を設置し、開催している（平成24年度は、平成24年6月14日に実施）。また、各委員会において自己点検・評価報告書の作成の意味を教職員に十分に認識及び確認を行い、それぞれの項目ごとに業務分担を行い、平成25年度6月発刊に向け準備を行っている。

a 公表（予定）時期

- ・平成25年6月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配付予定
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・自己点検・評価報告書の第3回発刊年度（平成29年6月）を予定している。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日)